

和太鼓の魅力(響き・轟き・余韻)を引き出す叩き方

太鼓は単に「叩く」という行為だけでなく、**気持ちを込めて**打つことによっていい音質を得ることができます。

太鼓を叩く際の姿勢

●姿勢

バチは軽く握り、腕の力を抜きます。背筋を伸ばして猫背にならないよう意識します。

●座る位置

バチを構えた時に、バチ先が鼓面の中央にくるように座ります。

●視線

視線は下に落とさず、正面や鼓面を見据えるようにするとよいでしょう。

※姿勢は地域の伝統伝承もありますのでこの限りではありません。

太鼓の叩き方

●叩く位置

中心から 500 円玉 1 枚程度 あけて叩くとよいでしょう。

太鼓は鼓面の中心が音の起点となっています。

そのため中心を叩くと振動が止まり、響きが弱まってしまいます。

●叩き方

太鼓を叩くときは素早く、“点”で打つイメージです。

構えたらまっすぐ振り上げ、バチと鼓面が触れる瞬間に力を込めて叩きます。

このとき、バチと鼓面が触れ合っている時間をなるべく短くすると◎

鼓面を押さえつけるバタ打ちは振動が止まり、響きが弱まってしまいます。鼓面が傷む原因ともなります。

鼓面に対しバチで斜めに殴りつける打ち方や、擦る打ち方は、革の繊維を傷つけ破れやすくします。

※叩き方は地域の伝統伝承や曲による“打奏”によるかと存じますが、ご注意ください。

●叩く際のリズム

バチを打つときと引くときの呼吸に強弱をつけ、リズムをとります。

打った力と同じ強さ・速さでバチを引くと音がよくなり、鼓面の傷みも軽減されます。

各種太鼓製造販売
株式会社 柳澤臣太郎商店
代表取締役 柳澤尚宣
〒436-0047 静岡県掛川市長谷316
TEL: 0537-22-2444 FAX: 0537-22-2614